

2021年6月29日

鹿児島大学病院 産科婦人科で
卵巣癌、卵管がん、腹膜癌の治療を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院産科、婦人科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

進行卵巣癌に対する Bevacizumab 併用術前化学療法の効果判定に対する検討

【研究機関】

鹿児島大学病院 女性診療センター 産科、婦人科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 女性診療センター 産科、婦人科
特任講師 水野 美香

【研究の目的】

婦人科がん領域においても抗癌剤に併用する Bevacizumab(Bev)の上乗せ効果が報告されており、ひろく臨床で使用されております。しかしながら、進行卵巣癌に対する Bev を併用した術前化学療法(NAC)の効果に関するコンセンサスは未だ得られておりません。今回、当院で2015年以降に治療した卵巣癌、卵管がん、腹膜癌を対象にして、NAC後の腫瘍減量手術(IDS)の摘出検体においてガイドラインが推奨する組織学的治療効果判定などを用いて、Bevの

効果を後方視的に検討し、研究結果を学会、論文などで報告する予定です。

【研究の方法】

既存の診療情報を用いて、研究報告を行います

【対象となる患者さん】

2015年 1月 1日から2021年6月30日までに、鹿児島大学病院産科婦人科で卵巣癌、卵管がん、腹膜癌と診断され、治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

- 背景情報：年齢、全身の状態、性別、既往歴、合併症、病歴
- 手術、治療薬、副作用、合併症等、疾患に関する情報
- 病理組織学検査結果、血液検査結果、画像検査結果

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公

開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 女性診療センター 産科、婦人科

特任講師 水野 美香

電話 099-275-5423 FAX 099-265-0507